

全国市民 アクション ニュース

No : 15

2019年7月21日

〒101-0064

東京都千代田区神田猿樂町1-2-3
錦華堂ビル4A

■電話 03-5280-7157

■FAX 03-5280-7158

■Mail : info@kaikenno.com

発行：安倍9条改憲NO！
全国市民アクション

7月19日、46回目の「19日行動」に1500人
立憲野党と市民の力で
参院選勝利・改憲勢力2/3を阻止へ



安倍9条改憲 NO！全国市民アクションと総がかり行動実行委員会は「安倍9条改憲 NO！」[辺野古新基地建設断念を！]「年金払え！」「参院選勝利！」などを掲げて、7月19日、46回目となる「19日行動」を開催、1500人が参加しました。

参院選に勝利し 安倍9条改憲を断念させよう！

集会は、9条壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんの司会で進行、まず、主催者を代表して、共同代表の福山真劫さん（戦争をさせない1000人委員会）があいさつに立ち、「参議院選挙は、憲法破壊・ウソの政治・貧困格差を拡大する道を進むのか、平和と民主主義・憲法を擁護し、共に生きる道を進むのか、そのどちらかを選択する選挙だ。また我々の最低の目標は改憲勢力の3分の2を割らせることだ。自分だけ投票に行くだけでは勝てない。多くの人に声をかけていこう」と訴えました。



政党からは、日本共産党の山添拓参院議員、立憲民主党の大河原雅子衆院議員が参加、それぞれ、「野党共闘と市民との力で参院選選挙に勝利を！」と訴えました。



次に、市民団体などの代表が発言。市民連合（安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）の廣渡清吾東大名誉教授は、「これまで、二度の国政選挙があったが安倍政権に大きな打撃を与えきれなかった。安倍政権は国民を簡単にごまかせると思っている。私たちはも



つと怒っていい。安倍政権は改憲を選挙の争点にしてきた。いまここで反撃しなくてどこですのか。みんなの力で情勢を変えよう」と訴えました。



最後に、憲法共同センターの木下興さんが行動提起を行い「参議院選必勝のためさらに奮闘すること」を訴えるとともに、「今後の行動として8月19日の

19日行動、強行採決4周年目を迎える9・19行動への参加。そして、イラン情勢ホルムズ海峡への軍事的な動きがみられた場合は何らかの官邸前での行動も設定する可能性があること」等を提起しました。



千葉県第5区市民連合の徳武純平さんが、参院選千葉選挙区では、3人区で異例ながら立憲と共産の候補が野党共闘の力でお互い協力し合って闘っている。3番目の議席を共産と自民が競り合っている。勝利に向けて、たたかう現状の報告をしました。



年金切り下げ違憲訴訟原告団の馬場目トミ子さんは、2013年以降3年間で強行された2.5%の年金切り下げは、低年金で厳しい生活を強いられている高齢者への憲法25条違反として32地裁、約4000人の原告団で闘っている報告をしました。



許すな！憲法改悪・市民連絡会の土井登美枝さんは、市民連絡会の訪問団として、沖縄の辺野古新基地建設反対の現地のたたかいと、参院選の沖縄選挙区のオール沖縄としての高良鉄美候補必勝に向けてのたたかいに参加してきた報告をしました。



市民連合が街頭宣伝

「参院選一選挙へ行こう!」をアピール



市民連合(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)は、立憲野党4党と一会派(立憲民主党・国民民主党・日本共産党・社会民主党・社会保障を立て直す国民会議)との間で、13項目の政策協定を結び、参院選での一人区32選挙区での野党統一候補を実現することになりました。このことをふまえ、7月3日と15日、二回にわたって、選挙に行こう緊急街宣を新宿西口で実施しました。



